

第 12 章 心霊スポット

国府孝史

12.1 はじめに

本章ではオホーツクにおける心霊スポットの特殊性について考えていく。本章の以下の項であげる事例でも見られるが、網走監獄に由来する囚人関係の心霊スポットの多さにスポットを当てていきたい。

12.2 囚人関連の心霊スポット

12.2.1 網走監獄（網走市）

12.2.1.1 刑務所としての経緯

明治維新後の日本は、内乱による国事犯や政治犯が続出したため、監獄は過剰拘禁となっていた。同時に、「富国強兵」を掲げて西洋列強と肩を並べるためやロシア帝国による脅威を防ぐためには蝦夷地の開拓が重要視されていた。

そこで、1881 年に「監獄則」改正を行って徒刑、流刑、懲役刑 12 年以上の者を拘禁する集治監を北海道に設置し、囚人を労働力として使役させて北海道の防衛と開拓を進める政策を執った。また、刑を終えた後は北海道に住み着いてくれれば良いという考えもあった。

1890 年、中央道路の開削工事を行うため、釧路集治監から網走に囚徒を大移動させて開設。発足時の囚人数は 1392 人でその 3 割以上が無期懲役であり、ほかの囚人も刑期 12 年以上の重罪人であった。中央道路工事は、1891 年のわずか 1 年間で、網走から北見峠まで約 160km が開通しており、過酷な労働条件による怪我や栄養失調が続出し、死者は 200 人以上となった。

1894 年に、囚人使役は「囚人は果たして二重の刑罰を科されるべきか」と国会で追及されるまでの社会問題となり廃止された。しかし民間人や外国人などによる「タコ部屋労働」は大正、昭和になっても続いた。

12.2.1.2 心霊スポットとしての網走監獄

網走監獄に端を発する網走刑務所敷地内にある「網走監獄墓地」は収監中になくなった収容者や殉職した職員たちを祀っている場所であり、通常は立ち入りが許可されていない場所である。ここが網走監獄の中の心霊スポットに挙げられている。

ここで祀られているのは、引き取り手のなかった囚人たちの亡骸である。初期は、塔の下に土葬されていたがのちに火葬されるようになった。この塔も、敷地内産出の軟石を彫刻し組み上げたものである。大正期の収容者による作業で立てられたものである。

立ち入り禁止であるこの墓地が心霊スポットとして注目された理由は、TBS 系列の番組関係者が無断でここに深夜侵入、撮影し、おもしろおかしく心霊スポットとして紹介をされた。それ以降、「北海道の心霊スポット」として雑誌などに紹介をされ、ふざけ半分に墓地内に侵入する人が増加している。

12.2.2 常紋トンネル（北見市留辺蘂町）

常紋トンネルは、JR 北海道石北本線にある単線非電化の鉄道トンネルである。生田原駅と西留辺蘂駅の間にあり、常呂郡（旧・留辺蘂町、現・北見市）と紋別郡（旧・生田原町、現・遠軽町）を結ぶ常紋峠下を通る。2017 年まで西留辺蘂側坑口付近に常紋信号場が存在した。

このトンネルは凄惨過酷なタコ部屋労働で建設されたことでも有名である。施工当時、重労働と栄養不足による脚気から労働者は次々と倒れ、倒れた労働者は治療されることもなく体罰を受け、死ねば現場近くに埋められたという。山菜取りに来た近隣の住民が、人間の手や足の骨を拾ったという話もある。

また 1968 年の十勝沖地震で壁面が損傷し、1970 年に改修工事が行われた。常紋駅口から 3 つ目の待避所の拡張工事の際、レンガ壁から 60cm ほど奥の玉砂利の中から、頭部に損傷のある人骨が発見された。人骨の一部には、骨が折れているなどの暴力の痕跡からタコ部屋労働を裏付けるものとなっている。1980 年には、当時の留辺蘂町（現・北見市）によって金華信号場西方の高台に「常紋トンネル工事殉難者追悼碑」が建てられた。

12.2.3 鎖塚（北見市端野町）

1891 年、囚人労働により作られた道路のうちに北見道路がある。南下政策をとるロシアに対抗するためにつくられた軍用道路で、網走市から北見峠までの 160km を結ぶ。この道路の建設は、明治政府により 1115 人もの受刑者が駆り立てられた。

図 12-1 職員墓地



出所：網走監獄 HP

図 12-2 囚人墓地



出所：網走監獄 HP

多くの受刑者たちは過労と栄養失調で次々と死んでいった。深夜に及ぶ過酷な労働と劣悪な環境、栄養不足などにより道路が完成した時点で死亡者の数は、囚人 211 人、看守 6 人にのぼる。これは道路建設に関わった受刑者のうち、20%が死んでいることになる。死んだ受刑者たちは道路の隅に放置され、ただ土を盛られるだけであった。

逃亡を防ぐため囚人は両脚に鎖で重さ 4kg の鉄丸を結わえ付けられ、更に囚人同士も二人一組で繋がれた。場合によっては死ぬ時も鎖を付けたままであった。従って、これらの土饅頭からは人骨と同時に鎖が出土する。鎖塚の名はここに由来する。

開道 100 周年に当たる 1968 年には、当時の端野町長であった中澤廣は同地に鎖塚の由来を記した立札を設置された。5 年後に地蔵尊を建立し囚人達の供養に努めた。1976 年 10 月 17 日、鎖塚慰霊奉賛会によって「鎖塚供養碑」が建立され、鎖塚保存会も結成された。

この他にも沿道には、北見峠にかけて東から順に「中央道路開削犠牲者慰霊碑」「留辺蘂墓地中央道路犠牲者之墓」「山神碑」「国道開削殉難慰霊之碑」「中央道路開削殉難者慰霊の碑」があり、地元住民が供養の花を手向けたり、観光客が往時を偲んだりしている。北見道路は現在の国道 39 号線、333 号線、道道 104 号線に相当する。現在では道道 104 号線沿い 3 つの鎖塚が残っている。鎖塚は大変強力な怨念がこもっている場所であると言われている。

12.3 強制労働と歴史

12.3.1 囚人道路

表 12-1 主な囚人道路一覧

地名	区間	人員	現在
上川道路	市来知（現・三笠市） 忠別太（現・旭川市） 計 88km	延べ人員 177660 人 （市来知 - 空知太）	国道 12 号線

図 12-3 常紋トンネル



図 12-4 鎖塚供養碑



出所：北見市 HP

北見道路	北見峠 網走 計 162.6km	1115 人	国道 39 号線、 333 号線、道道 104 号線
樺戸道路	月形町 美唄市峰延 計 11km	372 人	道道 275 号線

Wikipedia、月形町 HP より筆者作成

1885 年、時の最高実力者である伊藤博文の側近であった太政官大書記官金子堅太郎が、北海道各地を視察した。金子来道の目的は、松方デフレなどによって停滞した北海道開拓の状況の打開にあった。金子の囚徒に対する考えは「囚徒らは道徳にそむいている悪党であるから、懲罰として苦役させれば工事が安く上がり、たとえ死んでも監獄費の節約になり、一挙兩得である」という意味の主張をした。その上で囚人を道路工事に徴発するということになされたようである。

12.4 その他の心霊スポット～オホーツク編

12.4.1 鴻之舞金山跡（紋別市）

鴻之舞金山は 1973 年に鉱物枯渇により操業停止した金山である。そこは紋別市街地から丸瀬布寄りに南へ 30km という距離にあり、「望郷の大煙突」と呼ばれている精錬所の巨大な煙突が鴻之舞地区の入り口として目印になる。今では完全なるゴーストタウンで建物すらまともに残ってはいない土地だが、最盛期の鴻之舞には 13000 人も人口があったという。しかし今では家が一軒でも残っているどころのレベルではなく、案内看板、慰霊碑、歌碑や鴻紋軌道記念碑といったものがいくつか残っている程度である。

図 12-5 鴻之舞 慰霊碑



出所：Yahoo!ブログ

慰霊碑は落盤事故などで失われた多くの人々の魂を吊っている。そして鴻之舞には他の鉾山町と同じく戦前期には朝鮮からの労働者も沢山おり、最盛期で 4500 人ほどいた鴻之舞金山の鉾員の約半数が朝鮮人だったという時期もあったようだ。

また旧集落の脇から伸びる未舗装路を奥に進むと「鴻之舞墓地」と案内が出ている場所がある。しかし共同墓地のようなものではなく、お堂とその傍らに「舍利窟」と刻まれた石碑が建っているだけである。

図 12-6 旧佐呂間トンネル



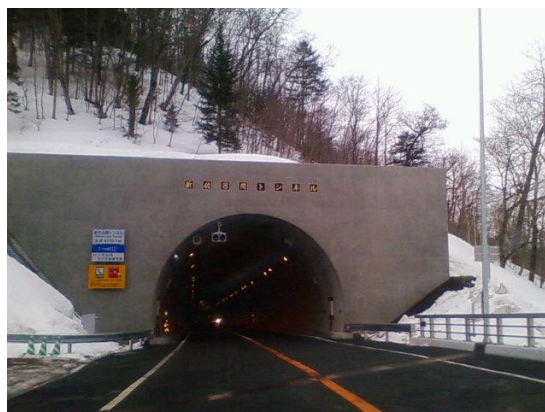
出所：みんなカラ

12.4.2 ルクシ峠旧道（佐呂間町）

ルクシ峠は国道 333 号線の旧道、旧佐呂間トンネルの付近を通る道路である。現在は使われておらず閉鎖されている。山間部の仁頃トンネルと新佐呂間トンネルが存在した。2001 年にルクシ峠で土砂崩落が起こって 2 名が死亡している。それ以降、男性の幽霊が自動車に乗り込んでくると言われている。

新佐呂間トンネルは、旧佐呂間トンネルがルクシ峠を経由するものであったのに対して、峠そのものを短絡するものとして建設された。常呂郡佐呂間町字栃木と北見市北陽を連絡する。全長 4110m のトンネルとなった。

図 12-7 新佐呂間トンネル



出所：アメブロ

2006 年 11 月 7 日に発生した北海道佐呂間町竜巻災害によって工事事務所および関係職員・作業員の多くが被災し、工事は一時中断された（被災現場は工事現場から約 4km 離れていたため、工事箇所そのものに被害はなかった）。

参照 HP

- ・ 網走監獄 HP

<http://www.kangoku.jp/index.html>

- ・ 畏怖 心霊スポット

<http://haunted-place.info/category/hokkaido/okhotsk>

- ・ Wikipedia 「国道 33 号線」

[https://ja.wikipedia.org/wiki/国道 333 号](https://ja.wikipedia.org/wiki/国道_333_号)

- ・ 北見市 HP

<http://www.city.kitami.lg.jp/docs/7135/>

- ・ 怖話

http://kowabana.jp/haunted_places/383

- ・ 新日本 DEEP 案内「鴻之舞金山」

<https://deepannai.info/hokkaido-kounomai/>

- ・ 心霊スポット.net

<http://心霊スポット.net/sinrei-supotto-hokkaidou.html>

- ・ 全国心霊マップ

<http://ghostmap.net/spotdetail.php?spotcd=96>

- ・ 空知の大地～樺戸道路が繋いだ歴史～

<https://www.youtube.com/watch?v=G8KdTB4Lv9c>

- ・ 月形町 HP

<http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/3673.htm>

- ・ 北海道 車中泊の旅 コンパクトカーで行く北海道 車中泊の旅

<https://blogs.yahoo.co.jp/sirius1295867ss888/24162833.html>

- ・ 北海道の【ヤバイ】心霊スポット・廃墟 15 ヶ所 NEVER まとめ

<https://matome.naver.jp/odai/2141196042705461601>

- ・ 村の神様の DF 日記

<http://muranokamisama.blog38.fc2.com/blog-entry-45.html>